

2022年度 (51期) 環境経営レポート

(対象期間：2022年5月21日～ 2023年5月20日)



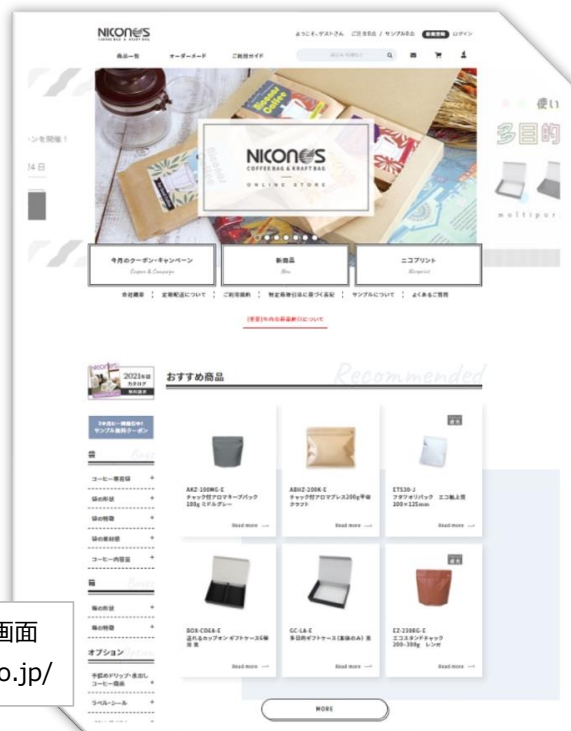
2022年SCAJ（東京ビッグサイト）
ニコノス展示ブース

目 次

項目	ページ
ごあいさつ 環境経営方針	3
組織の概要 事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表 主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6 5 8
各事業所の取り組み紹介	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無 緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11

ニコノス株式会社 沿革

- 1972.06 「日本珈包印刷株式会社」設立
- 1991.05 社名を「ニコノス株式会社」に変更
- 2005.05 “アロマプレスパック”販売開始
- 2007.04 ホームページを開設
- 2010.11 WEB事業部を開設し、通信販売を本格化
- 2012.12 “アロマキーブパック”販売開始
- 2015.09 “ニコプリント”スタート



ニコノス WEBページトップ画面
<https://www.niconos.co.jp/>

ごあいさつ

「コーヒーの包装資材」を企画・販売している私たちは、捨てられたゴミの中に自社の製品を見つけ、悲しくなる事がよくあります。弊社の商品は役割を果たすと使用後はゴミになる運命です。私はかねがねそんな自社製品に「作って終わり」ではなく「作った責任」を果たさなければと考えていました。そんな時、エコアクション21は経営環境を考える大きなきっかけとなりました。

「ストップ地球温暖化」と世間はいいますが、実際何から手をつけていいのかわかりません。けれど、エコアクション21が唱える職場環境の改善や地域のゴミ問題、二酸化炭素削減に繋がる行動や、数値目標を設定する事は、私たちの環境経営指針を明確にしました。まず日々の活動において電気、水道、ガソリンの無駄を無くす意識が芽生え、ちょっとした意識改革で、社内をあげて積極的にエネルギーの削減に取りくむことができました。弊社の商品が使用後はゴミになるならば、環境に優しい素材の製品を新しく作ることで改善できると、マイナスをプラスに変える発想で、常により良い素材の選定を試みています。

小さな一歩が地球規模の大きな成果に繋がることを望んで止みません。

環境経営方針

環境経営理念

「社員一人一人の力（power）を結集し、
安心安全で包む（package）技術を探求し、
求められるカタチを提案（proposal）する」

3つのPの基本理念に基づき、環境保全の継続的改善に取り組むとともに、環境にやさしい商品の企画・提案を進めて参ります。

環境保全への行動指針

- 1 . 二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・給水量の継続的な削減に努めます。
電気、ガソリン等の使用量削減に努めます
3R活動の展開による廃棄物の削減・再資源化に努めます
節水活動による水使用量の削減に努めます
- 2 . 環境に配慮した活動・提案を継続的に努めます。
資材や物品のグリーン購入に努めます
環境に配慮した商品の企画・提案に努めます
- 3 . 社内において全従業員に環境経営方針を周知し、全員参加により取り組みを目指します。
- 4 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2021年7月1日

代表取締役 片山 恵子

組織の概要

更新日：2023年7月28日

- (1) 名称及び代表者名
ニコノス株式会社
代表取締役 片山 恵子
- (2) 所在地
本 社 大阪府大阪市都島区都島本通4丁目7番29号
大阪OFFICE 大阪府大阪市都島区都島中通2丁目22番15号
第2倉庫 大阪府大阪市都島区都島本通4丁目1番15号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 ゼネラルマネージャー 安藤 めぐみ TEL：06-6924-0348
担当者 特販部 吉川 朋子 TEL：06-6924-0348
- (4) 事業内容
コーヒーに関する包装資材の企画・製造・販売
- (5) 事業の規模
年間販売数量 38,140 千枚
- | | 本 社 | 大阪OFFICE | 第2倉庫 | 合計 |
|---------|-------|----------|-------|-------|
| 従業員 名 | 8 名 | 19 名 | 0 名 | 27 名 |
| 延べ床面積 m | 240 m | 230 m | 282 m | 752 m |
- (6) 事業年度 5 月 21 日 ~ 5 月 20 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： ニコノス株式会社
対象事業所： 本 社
大阪OFFICE
第2倉庫

活動： コーヒーに関する包装資材の企画・製造・販売

□事業や製品(商品)の紹介

【コーヒー専用袋】



Aroma Keep Pack®

アロマキープパックのしくみ

アロマキープバルブ®は多層構造のフィルム製で、煎りたてのコーヒー豆から出るガスを袋外に放出し、外気(酸素)を遮断して鮮度を保ちます。長期保存対応コーヒー専用袋です。ボタンバルブに比べて、薄いフィルム製なので保管の省スペース化がはかれます。

アロマキープパック、及びアロマキープバルブはニコノス株式会社の登録商標です



【オリジナル印刷】ニコプリント

対応袋に1色印刷ができるサービス

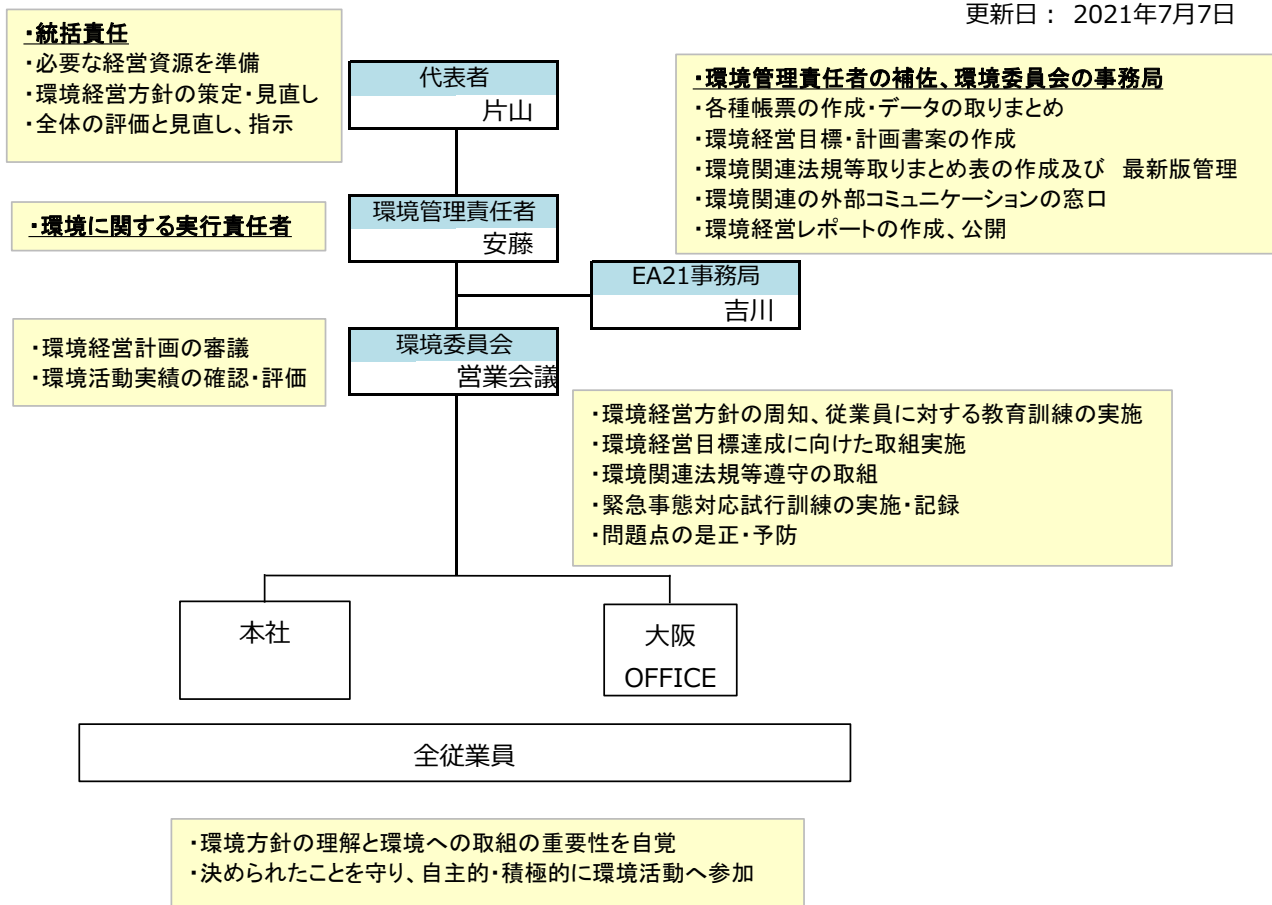


【ギフト対応】送れるクラフトケース 各種



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2021年7月7日



主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	24,988	24,986	24,793
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,024	559	631
産業廃棄物排出量	kg	880	1,225	945
水使用量	m ³	326	384	232
※電力の二酸化炭素排出係数(調整後)		0.318	0.318	0.318
※電力会社と採用年度		関西電力 2019年度	関西電力 2019年度	関西電力 2019年度

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

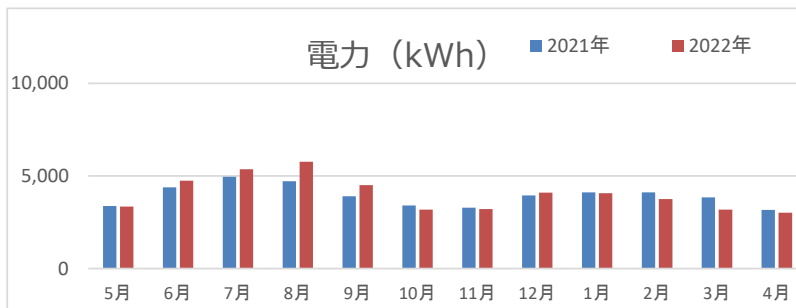
□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2022年		評価	2023年	2024年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	15,123	14,972	15,333	×	15,123	14,972
	基準年度比	2021年	99%	101%		100%	99%
	原単位 kg-CO2/千円	0.0207	0.0205	0.0185	○	0.021	0.020
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	9,863	9,764	9,459	○	9,370	9,271
	基準年度比	2021年	99%	96%		95%	94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	24,986	24,736	24,793	×	24,493	24,243
一般廃棄物の削減	kg	559	553	631	×	615	603
	基準年度比	2021年	99%	113%		110%	108%
水道水の削減	m ³	384	380	232	○	227	223
	基準年度比	2021年	99%	60%		59%	58%
インクの適正管理	行動目標(次項による)						
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価

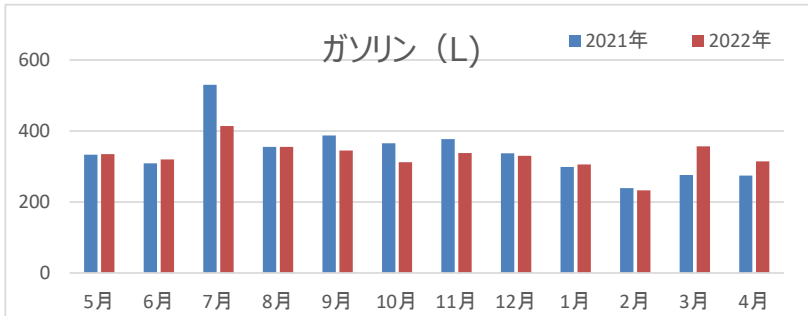
数値目標: ○達成 ×未達成
活動: ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	通年で昨年比101%の微増となったが、原単位では目標をクリアしており、売上増に伴い、各拠点での作業量が増えたことが要因と考えられる。 10年以上使用していたエアコンの買い替えで節電効果を実感できたので、今後古い電化製品等はタイミングを見て買い換えていくことを検討していく。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・業務の効率化による定時退社	○	



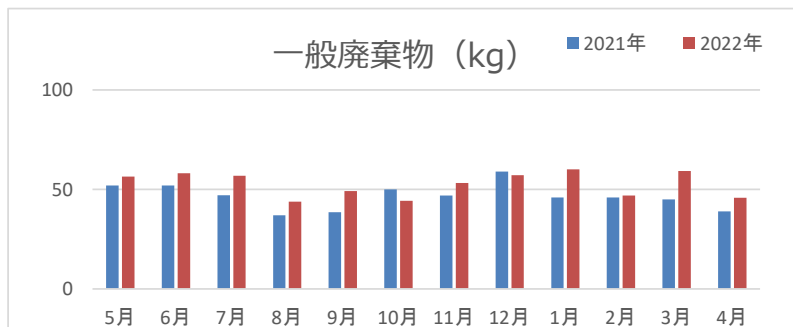
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2021年	3,373	4,379	4,958	4,713	3,898	3,409	3,287	3,949	4,113	4,113	3,836	3,167
2022年	3,344	4,742	5,363	5,769	4,499	3,189	3,205	4,102	4,068	3,748	3,178	3,011

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	前年比96%となった。エコアクション21を取り組み始めてから、各営業の「エコドライブを意識」が継続できている結果と捉える。今まで配達していた取引先様も、注文頻度や量によって運送会社を使った出荷に振り分ける対応も継続している。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・更新時にエコカーを選択	○	



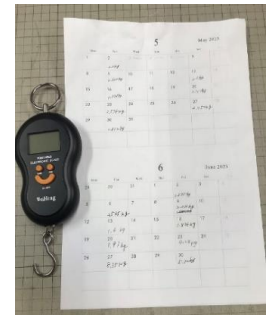
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2021年	333	309	530	355	387	365	377	337	299	239	276	274
2022年	335	320	414	355	345	312	338	330	306	233	357	314

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	トータルで前年比113%増となった。売上増に伴い、在庫す量・出荷量が増えたことによるごみの増加と人員増以外に特に原因となる要素はなかった。来期より、計測場所別に排出量をグラフにして見える化していく。
・分別の徹底	○	



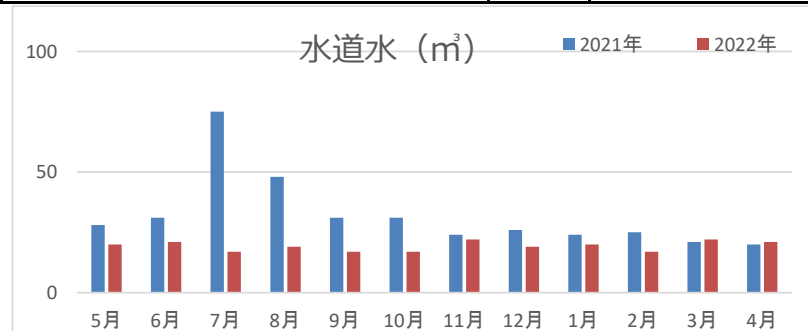
場所別 昨年対比

- ・本社 129.5%
- ・大阪オフィス1階 116.8%
- ・大阪オフィス2階 84.7%



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2021年	52	52	47	37	39	50	47	59	46	46	45	39
2022年	56	58	57	44	49	44	53	57	60	47	59	46

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	トータルで前年比60.4%となったが、前年のオフィス1階のトイレの故障、第2倉庫10ヶ月間使用分(2022年3月より契約停止)、約152m ³ を差し引くとほぼ前年同量となった。本社での印刷の注文が増えると、インクを落とす回数も増えるため、今後水の使用量を減らしていくのは厳しい状況と言える。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・漏水点検	○	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2021年	28	31	75	48	31	31	24	26	24	25	21	20
2022年	20	21	17	19	17	17	22	19	20	17	22	21

インクの適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・容器の蓋の徹底	○	インクの購入日と使い切った日を管理し、適正使用を心がけており、それが印刷自体のロス率の低下にも影響している。空になった缶は調色時に使用しており、処分時もインクを拭き取ってアルミとしてリサイクルできる状態にしている。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	△	

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・環境に配慮した商品の販売	○	8月に2アイテム、10月に4アイテム、2月に2アイテム、遮光フィルムを使用した環境配慮型商品を発売。 2022年9月エコアクション21の登録に合わせてWEBサイトに「環境への取り組み」ページを追加し、ニコノスの環境への考え方・取り組みを発信、10月SCAJ展示会にてにこエコプロジェクトを発表。
・製品・情報の公開	○	



2022年10月にお米由来のバイオマスフィルム「ライスレジン」を使用した50g用平袋を発売。「ライスレジン」は、食用に適さない古米・米菓メーカーなどで発生する粉砕米など、飼料として処理されず廃棄されてしまうお米を新しいテクノロジーでアップサイクルした素材です。

ニコノスは「コーヒーにも地球にも優しいパッケージ」を企画・製造してまいります。



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・出荷業務に関する仕組みの改善	○	ピッキング時にハンディー機器を通してチェックする仕組みに変更したため、商品・数量間違いがほぼなくなり、お客様からの問合せにも素早い対応が可能となった。 メインで商品を製造いただいている協力企業様と、リアルタイムで発注一覧を確認できるツールを作り、TELやメールで行っていた出荷指示業務を整理したことで、業務の効率化・ミス削減につながった。
・事業拡大のための人材確保	○	
・協力企業様との連携強化（情報共有）	○	

グリーン購入について

OA機器、文具はエコマークの商品を積極購入

3台のレーザープリンタには、再生トナー・再生ドラムを使用



各事業所の取組紹介

<大阪OFFICE>



エコアクション21 掲示板

掲示板の下が

- ・紙類
 - ・プラゴミ
- の分別収集場所となっている

< 本社 >

「ごみ分別」

「節水呼びかけ」

本社では、インクを落とすなど作業工程上水を使うことが多いが、節水を徹底している

1階の入り口扉を取り、カーテンに変更したことで、より効率的に動ける同線となり、作業効率の向上につながった



**産業廃棄物処理
工場の現地見学に
参加しました。**

2023/5/19



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無



環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物(廃プラ)の保管・処理委託
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の修理・廃棄時の適正処理と簡易点検
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫・冷凍庫の廃棄時のリサイクル
顧客要求事項	環境管理、品質管理



環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

対象期間については苦情等はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 地震の発生	
■実施日： 2022/11/2	■実施場所 大阪OFFICE
■参加者： 8名	
■実施内容： <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 防災備蓄品の場所を全員で確認する。ヘルメットを着用してから、屋外へ避難。	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
折りたたみのヘルメットをセッティングするのに思った以上に時間がかかった。地震の際には、まず机の下に避難して、揺れが収まってからヘルメットをかぶって屋外へ避難する。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2022/11/11	■実施場所 本社
■参加者： 6名	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 全員で消火器の使い方の動画を見る。印刷機から火が出たことを想定して消火・避難を行う。	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
新しいスタッフも増えたので、消火器の使い方の動画を見て確認。	
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年7月4日

【当該年度の総括】

当該期は新型コロナウイルスの対策が緩和され、海外からの入国解禁や国内でも外出機会が増加傾向にあり、経済が活気を取り戻しつつあった期で、弊社は順調に販売量増が続いております。

エコアクション21の実践に関しては、前期に引き続き、廃棄物の分別や節電節水などをスタッフに周知浸透させるべく、目標や推移表を掲示して働きかけました。

◇電力による二酸化炭素削減

販売数や売上が増加し、前期(2021年度)と比較すると、電気使用量は僅かながら増加する結果となりましたが、原単価目標値と比較すると減少していることは、作業量が増えたにも関わらず、全社を挙げて節電に積極的に心がけていた事、倉庫が無人時の消灯を徹底させた事、さらに新型エアコンに買替えたことによる節電効果が多大であったと思われる。

◇自動車燃料による二酸化炭素削減

商品の配達を運送会社に委託することを徹底、車の購入時にはハイブリットを選ぶなど、積極的に削減に取り組んでいます。ガソリン車は走行距離を考えてムダを省いた計画的な運行ができています。今後も継続してガソリン使用量を抑えるよう努力をしていきます。

◇一般廃棄物の削減

初年度の前期はシステム変更により大幅減となりましたが、今期は売上高も増え、昨年以上に商品の流通量が増えている事、人員を増やした事でゴミの排出量が増加したと思われる。さらに分別を徹底し、使い捨てのゴミなどを削減するよう心がけ、また各部署比較で排出量の推移の見える化を図り、各人の環境意識を高めるよう努めていきます。

◇水道水の削減

前期は水道の突発的なアクシデントが発生し使用量が増加しましたが、それを考慮しても、今期は人数の増加もあったにも関わらず、使用量は減少しています。さらに節水を心がけるよう努めていきます。

◇環境に配慮した製品・サービスへの取り組み

地球温暖化に目を向けた脱二酸化炭素の商材は、社会からは求められているものの、弊社ではユーザーの積極的な購買に繋がっていないように感じられます。

◆今後の課題◆

前期から引き続きリサイクル原料を採用した製品を提供していますが、まだまだ広報活動が充分とは言えず、浸透しきれていない現状で、従来からの製品を継続使用されるユーザーが多いのは否めません。

またリデュース(省資源)・リユース(再利用)の商品企画・開発にも取り組めておらず、一年を通して反省すべき点が多いです。

来期は今期の反省をふまえ、環境対応型の新商品開発を進め、ニノスの環境活動への認知度を高めていくことでユーザーから支持されるよう、エコアクション21の活動を社内外に広げて、環境意識の向上につながるように営業活動をしていきます。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	(2022年度の実績を基準値とする)
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	

□編集後記

エコアクション21の取り組みも2期目に入り、社内全体として環境意識が浸透してきているように感じます。ただ、よく話をヒアリングするそれぞれの担当者とそれ以外の人の意識の差が出てきているように思えるので、来期は集計場所ごとの「電力・水道・ごみの量の推移」をグラフにして全スタッフで数値を共有し、ひとり一人の意識を高めていけるよう社内での情報共有を強化していきたいと思っております。

吉川 朋子